

1 基本項目	事務事業名	市道改良舗装事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	市道改良舗装事業				係名	維持管理係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成元以前	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路新設改良費
基本事業名	16-2 生活道路の整備			アウトソーシング導入状況		導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市民がより安心して健やかに暮らせるまちづくりのため、市民生活に支障がある市道の拡幅改良、路肩改良、舗装新設等の工事を実施する。また、事業用地が不足する場合は、地元関係者と協議を行い用地補償を行う。	
	対象	市内の市道	
	手段 (活動指標)	市道の改良・舗装工事の実施を行う。	
	意図 (成果指標)	道路改良工事、舗装工事により安全性、利便性を向上させる。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 市道延長	m	402,467	402,467	402,500	404,997	100.6%	402,550
	② 道路改良延長	m	308,364.0	308,364.0	308,500.0	311,261.1	100.9%	308,550.0
	③ 舗装済延長	m	378,500	378,522	378,600	381,158	100.7%	378,650
	① 市道改良率	%	76.6	76.8	76.8	76.9	100.1%	78.0
	② 市道舗装率	%	94.0	94.1	94.0	94.1	100.1%	95.0
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円						
	②委託料	円	4,000,000	1,437,717	4,000,000	2,937,476	104.3%	3,500,000
	③工事請負費	円	80,000,000	79,823,100	53,200,000	53,074,440	-33.5%	43,700,000
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	5,800,000	2,668,011	2,800,000	240,104	-91.0%	2,800,000
	支出合計 (A)	円	89,800,000	83,928,828	60,000,000	56,252,020	-33.0%	50,000,000
財源内訳	①国庫支出金	円	50,000,000	59,000,000				
	②県支出金	円						
	③地方債	円						37,500,000
	④その他(使用料、雑入等)	円			41,500,000	44,349,547		
	⑤一般財源	円	39,800,000	24,928,828	18,500,000	11,902,473	-52.3%	12,500,000
	収入合計	円	89,800,000	83,928,828	60,000,000	56,252,020	-33.0%	50,000,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	4
	②年間所要時間	時間	2,000	2,120	2,000	1,760	-17.0%	3,000
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	8,400,000	8,904,000	8,400,000	7,392,000	-17.0%	12,600,000
	総費用(A+B)	円	98,200,000	92,832,828	68,400,000	63,644,020	-31.4%	62,600,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	市道改良工事14件	市道舗装工事6件 の実施

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	交通の発達に寄与し、公共の福祉を増進することを目的としているため。
対象の妥当性					1 妥当である	総合計画に則り、市道に対して改良舗装しているため。
有効性	有効性	C	B	目標達成度	2 目標どおり	地区・住民の拡幅・新設舗装要望に平成26年度計画したことが達成できたため。
				類似事業の有無	1 なし	上記総合計画に則っているのは、改良舗装事業のみであるため。
				上位施策への貢献度	2 普通	市道を改良・舗装することで、快適な道路機能の強化に直結させているため。
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	道路改良工事を実施する際、工法選定においてコスト面で有利な資材等を使用しているため。
				実施主体の適正化	1 適正である	道路法により市に管理が定められている。
				負担割合の適正化	1 適正である	公共交通の利便性を確保するものであることから、一部の者に負担させることは適正ではないと思われるため。
	1次評価 (課長総括)	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後の方針 (評価結果)	安全で快適な暮らしやすいまちを実現するには不可欠な事業であるため、安全性を考慮した工法を採用しながらコスト縮減を図り、現状を維持していけるように進めていく必要がある。				評価結果

1 基本項目	事務事業名	市道青島22号線道路改良事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成23年度	終了年度	平成27年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路改良費
基本事業名		16-2 生活道路の整備				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道青島22号線は、市道経田西町北鬼江線と市道仏又青島線を結ぶ路線であり、沿線住民の生活道路として利用されているが、幅員が2.5m～5m程度と狭いことから、安全な通行の支障になっている。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保並びに市道経田西町北鬼江線と市道仏又青島線間のアクセスの向上を図るものである。	
	対象	市道青島22号線の利用者	
	手段 (活動指標)	工事施工、用地買収、地権者との交渉	
	意図 (成果指標)	拡幅整備し、安全な交通空間の確保とアクセスの向上	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業執行額 (累計)	円	110,169,154	89,624,999	107,324,999	110,714,770	103.2%	112,714,770
	②							
	③							
	① 進捗率 (累計)	%	100.0	81.4	100.0	98.0	98.0%	100.0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	59,661	59,661				
	③ 工事請負費	円	51,413,155	35,532,000	20,761,920	20,761,920	-41.6%	2,000,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	7,430,915	2,767,915	327,851	327,851	-88.2%	
	支出合計 (A)	円	58,903,731	38,359,576	21,089,771	21,089,771	-45.0%	2,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	32,387,338	18,541,088	11,599,373	11,599,373	-37.4%	1,100,000
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	23,790,000	17,770,000	8,500,000	8,500,000	-52.2%	800,000
	④ その他 (使用料、雑入等)	円		460,845				
	⑤ 一般財源	円	2,726,393	1,587,643	990,398	990,398	-37.6%	100,000
	収入合計	円	58,903,731	38,359,576	21,089,771	21,089,771	-45.0%	2,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5		5	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	860	860		560	-34.9%	300
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3,612,000	3,612,000	0	2,352,000	-34.9%	1,260,000
総費用 (A+B)	円	62,515,731	41,971,576	21,089,771	23,441,771	-44.1%	3,260,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	工事施工、用地買収、地権者との交渉	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) ため、市による実施が妥当	
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当		
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当		
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している		
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し		
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。		
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。		
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。		
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。		
1次評価 (課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要		
後の方針)	評価結果	現況路線の青島22号線は、幅員が2.5m～5m程度と狭いことから、安全な通行の支障になっている。地区住民や通行する不特定多数の人々に障害がでるため、遅滞なく事業を推進していく必要がある。				評価結果		

1 基本項目	事務事業名	市道緑ヶ丘線道路改良事業			担当部署	課名	建設課		
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029			
	事業期間	開始年度	平成23年度	終了年度	平成27年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち				算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化					目	道路改良費
基本事業名		16-2 生活道路の整備				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道緑ヶ丘線は、国道 8 号と県道富山滑川魚津線を結ぶ道路であり、生活道路として利用されているほか、沿線には福祉施設が多くあるが、幅員が 4 m 程度と狭いことや線形が悪いことから、安全な通行に支障を来している。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保を図るものである。	
	対象	市道緑ヶ丘線の利用者	
	手段 (活動指標)	工事施工、用地買収、地権者との交渉	
	意図 (成果指標)	拡幅整備し、安全な交通空間の確保とアクセスの向上	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業執行額 (累計)	円	22,992,929	2,583,000	37,583,000	12,915,800	34.4%	71,261,600
	②							
	③							
	① 進捗率 (累計)	%	32	4	53	18	34.0%	100
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	5,725,800	693,000	5,032,800	5,032,800	626.2%	
	③ 工事請負費	円	5,377,129		5,300,000	5,300,000		58,345,800
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	10,000,000		24,394	24,394		
	支出合計 (A)	円	21,102,929	693,000	10,357,194	10,357,194	1394.5%	58,345,800
財源内訳	① 国庫支出金	円	11,606,610	381,150	5,696,456	5,696,456	1394.5%	32,090,190
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	8,460,000	200,000	4,600,000	4,600,000	2200.0%	23,630,000
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	1,036,319	111,850	60,738	60,738	-45.7%	2,625,610
	収入合計	円	21,102,929	693,000	10,357,194	10,357,194	1394.5%	58,345,800
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	840	840	840	1,060	26.2%	800
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	3,528,000	3,528,000	3,528,000	4,452,000	26.2%	3,360,000
総費用 (A+B)	円	24,630,929	4,221,000	13,885,194	14,809,194	250.8%	61,705,800	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	工事施工、設計	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) ため、市による実施が妥当
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当	
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し	
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。	
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。	
1次評価 (課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
後の方針)	評価結果 (課題及び今後の方針)	現況路線の市道緑ヶ丘線は、沿線には福祉施設が多くあるが、幅員が 4 m 程度と狭いことや線形が悪いことから、安全な通行に支障を来している。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保を図るもので、地区住民や通行する不特定多数の人々に障害がでるため、遅滞なく事業を推進していく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	市道六郎丸32号線道路改良事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成24年度	終了年度	平成29年度	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	道路改良費
基本事業名		16-2 生活道路の整備			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道六郎丸32号線は、富山労災病院と県道三箇吉島線を結ぶ道路であり、病院利用者のアクセス道路として利用されている。富山労災病院は建替計画があり、建替後は当路線が主要道路になる予定である。幅員が7m程度と狭いことや歩道が整備されていないため、今後の交通量の増加や、歩行者の安全な通行に支障を来すおそれがある。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保を図るものである。	
	対象	市道六郎丸32号線の利用者	
	手続(活動指標)	工事施工、用地買収、地権者との交渉	
	意図(成果指標)	拡幅整備し、安全な交通空間の確保とアクセスの向上	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業執行額(累計)	円	26,500,000	27,936,630	46,500,000	30,319,807	65.2%	52,319,807
	②							
	③							
	① 進捗率(累計)	%	29	30	50	33	66.0%	56
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	406,623	406,623	1,249,516	1,249,516	207.3%	
	③ 工事請負費	円						25,000,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	43,021,520	27,530,007	1,133,661	1,133,661	-95.9%	
	支出合計(A)	円	43,428,143	27,936,630	2,383,177	2,383,177	-91.5%	25,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	23,885,478	15,365,145	623,516	623,516	-95.9%	13,750,000
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	17,580,000	11,320,000	400,000	400,000	-96.5%	10,100,000
	④ その他(使用料、雑入等)	円		58,820				
	⑤ 一般財源	円	1,962,665	1,192,665	1,359,661	1,359,661	14.0%	1,150,000
	収入合計	円	43,428,143	27,936,630	2,383,177	2,383,177	-91.5%	25,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	560	560	560	720	28.6%	300
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	2,352,000	2,352,000	2,352,000	3,024,000	28.6%	1,260,000
	総費用(A+B)	円	45,780,143	30,288,630	4,735,177	5,407,177	-82.1%	26,260,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	工事施工、用地買収、地権者との交渉	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なため、市による実施が妥当
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当	
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当	
有効性	有効性	A	B	目標達成度	3 低い・未実施	用地・物件補償の難航により、目標を達成できなかった。	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し	
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。	
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。	
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の方針(評価結果及び今後)	当路線は、地区住民や労災病院へのアクセス道路として、建替えに合わせて遅滞なく事業を推進していく必要がある。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	市道六郎丸33号線道路改良事業			担当部署	課名	建設課	
	予算事業名	道路改良事業				係名	整備改良係	
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1029		
	事業期間	開始年度	平成24年度	終了年度	平成27年度	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目	款	土木費
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	道路橋りょう費
		施策名	16 快適な道路機能の強化				目	道路改良費
基本事業名		16-2 生活道路の整備			アウトソーシング導入状況		導入予定なし	
根拠法令				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	市道六郎丸33号線は、富山労災病院と県道三箇吉島線を結ぶ道路であり、病院利用者のアクセス道路として利用されている。富山労災病院は建替計画があり、建替後は当路線が病院への接続道路になる予定である。幅員が5m程度と狭いため、今後の交通量の増加や、歩行者の安全な通行に支障を来すおそれがある。そのため、当該路線を拡幅整備し、安全な交通空間の確保を図るものである。	
	対象	市道六郎丸33号線の利用者	
	手続(活動指標)	工事施工、用地買収、地権者との交渉	
	意図(成果指標)	拡幅整備し、安全な交通空間の確保とアクセスの向上	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 事業執行額(累計)	円	19,400,000	17,218,615	19,400,000	17,218,615	88.8%	24,400,000
	②							
	③							
	① 進捗率(累計)	%	80	71	80	71	88.8%	100
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円	21,275,000	16,275,000				5,000,000
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	6,943,615	943,615				
	支出合計(A)	円	28,218,615	17,218,615	0	0		5,000,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	15,520,238	9,470,238				2,750,000
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円	11,350,000	6,900,000				2,000,000
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	1,348,377	848,377				250,000
	収入合計	円	28,218,615	17,218,615	0	0		5,000,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5		3	-40.0%	2
	② 年間所要時間	時間	760	760		360	-52.6%	300
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	3,192,000	3,192,000	0	1,512,000	-52.6%	1,260,000
	総費用(A+B)	円	31,410,615	20,410,615	0	1,512,000	-92.6%	6,260,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	工事施工、用地買収、地権者との交渉	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由			
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なため、市による実施が妥当		
目的の妥当性					1 妥当である	幹線道路の整備のため妥当			
対象の妥当性					1 妥当である	道路利用形態から妥当			
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	おおそ全体計画に近い値で達成している			
				類似事業の有無	1 なし	類似事業無し			
				上位施策への貢献度	1 高い	上位施策の目標達成に貢献している。			
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	基準に基づいて実施している。			
				実施主体の適正化	1 適正である	道路管理者以外に委託することはできない。			
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担は適正である。			
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要			
	後の方針(評価結果及び今)	当路線は、地区住民や労災病院へのアクセス道路として、建替えに合わせて遅滞なく事業を推進していく必要がある。				評価結果			